

IHクッキングヒーターからの火災事例

火災の内容

IHクッキングヒーターの上に置かれていたポットと鍋敷きが焼損した火災です。

原因について

お湯を沸かそうとIHクッキングヒーターのスイッチを入れたところ、やかんを置いたヒーターではなく、鍋敷きを敷いたポットが置かれたヒーターのスイッチを誤って入れてしまったことで、**ポット内部の金属部に反応して加熱**されポットの一部及び鍋敷きが焼損しています。



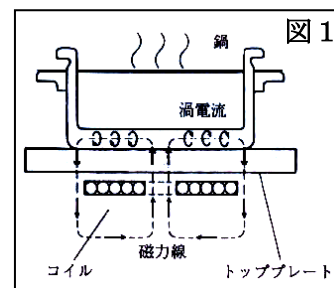
★IHクッキングヒーターとは？

IHクッキングヒーターの中には渦巻き状のコイルが入っており、ここに高周波電流を流すことでコイル周辺に磁力線が発生します。磁力線がガラストップを通過して鍋底などの金属に当たり、鍋そのものを発熱させるという仕組みになっています。(図1：参照)

火を使わなくても火災危険があります！

火災や事故を防ぐために

- ・ トッププレート上には使用可能な鍋など以外の物を置かない
トッププレートと金属が1センチ離れていても金属は発熱します。カセットコンロや炊飯器を置いていて燃えだしたという事例もあります。
- ・ 使わない時は主電源を切る
誤ってヒーターのスイッチを押してしまうことによる事故を防ぐことができます。
- ・ 油の量は適量に
専用の鍋を使い、揚げ物をする際は、取扱説明書をよく読み適量の油を入れて調理してください。



(新火災調査教本 第3巻電気火災編より引用)

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・